

国土地理院の変遷（庁舎）

③2次疎開 昭和20年5月
陸地測量部分散疎開
東筑摩郡波田村、明盛村（現：松本市）、
塩尻町（現：塩尻市）、
南安曇郡安曇村、梓村（現：松本市）
の各国民学校に疎開。同年に陸地測量部は
廃止となり、内務省地理調査所が発足



①陸地測量部の三宅坂庁舎（永田町）（明治・大正・昭和19年まで）
※昭和20年空襲により焼失



②1次疎開 昭和19年4月
杉並区和泉の明治大学予科校舎へ移転

③
長野



⑤昭和33年7月
目黒区上目黒の駒沢練兵場跡地
へ移転（目黒庁舎）し、
昭和35年地理調査所は国土地理
院に名称変更



④昭和21年3月
千葉市黒砂町（現在の稲毛区）の旧陸
軍戦車学校跡地へ移転（稲毛庁舎）。
昭和23年建設省地理調査所に改編



⑥昭和54年4月
筑波郡谷田部町（現つくば市）に
移転（つくば庁舎）